

令和2年度 第40次宇都宮市住居表示等審議会（第1回）会議録

- 1 日時 令和2年7月30日（木曜日）午前10時
- 2 場所 宇都宮市役所 14大会議室
- 3 出席者 篠崎茂雄委員，豊田豊委員，安野光宣委員，杉山豊委員，仲田正和委員，池田貞夫委員，柿沼賢委員，木村由美子委員，滝田政男委員，外鯨泰子委員，舘野常利委員
- 幹事 坂本富屋地区市民センター所長
- 事務局 小関市民まちづくり部長，坂本市民まちづくり部次長，會澤市民まちづくり部副参事，神谷市民まちづくり部副参事，田代市民課長，小林市民課長補佐，野澤市民課企画グループ係長，清水市民課企画グループ総括，田崎市民課企画グループ主任主事
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事 (1) 会長及び副会長（2名）の選任について
(2) 市長からの諮問
(3) 諮問事項について
(4) 今後のスケジュール

【開会】午前10時

(1) 会長及び副会長（2名）の選任について

宇都宮市住居表示等審議会規則第3条第1項に基づき，委員の互選により，篠崎会長，豊田副会長，安野副会長を選任

(2) 市長からの諮問

市長から篠崎会長へ諮問

市長

【市長あいさつ】

コロナ禍の中，第40次宇都宮市住居表示等審議会にご出席賜わった委員の皆様には感謝を申し上げます。また，会長をはじめ委員の皆様には，快く審議会委員を引き受けていただき重ねて感謝申し上げます。

今回40回目の審議会となるが，これまでは住居表示の実施に基づいて，町名を決定するというごお願いをしてきた。直近で言うと，ゆいの杜1丁目から8丁目，その他にも宇都宮市で初めてカタカナ名のインターパークなどがある。

今回は既存の町名を変更する諮問となる。「徳次郎町」を「とくじらまち」ということで地元である富屋地区連合自治会長と地域の皆様のご要望された。

私も富屋に縁があったため，小さいころから「とくじら」と言っていた

のを覚えている。そのため平成になってから「とくじろうまち」になったものと勘違いをしていたが、以前から正式名称は「とくじろうまち」となっていたようだ。

地元の皆様からのご要望があったが、8月31日にはもう一度皆様にお集まりいただくことになると思う。委員の皆様においては、コロナ禍の中、暑い中、仕事の中お手数をおかけすることと思うが、宇都宮市の発展、そして富屋地区の地域のためにお力添えを賜るようお願いし、挨拶とする。

(3) 審議事項について

【1 徳次郎町の概要及び 2 町名変更の要望について】

会 長 地元から要望書が提出されたとのことだが、臨時委員から何かご意見はあるか。

委 員 **別紙3**のとおり、私たち住民は昔から「とくじら」という読み方に愛着を持っていることから、「徳次郎町」の読み方を「とくじろうまち」に変更していただきたくお願いした次第である。

会 長 その他、ご意見等あるか。

委 員 「とくじら」が何故「とくじろうまち」になったのか、根拠となる資料が見当たらなかったということだが、合併する際に、宇都宮市と富屋村とで合併推進対策協議会等を設置して協議されてきた中で「徳次郎町」の読み方については「とくじろうまち」とすることが適当であるとの結論になったのではないかと推測される。当時の状況としては、読みやすい町名にしようとの意見があったのではないかと思う。

【3 町の名称の定め方について】

会 長 特に質問等ないため、次に進める。

【4 調査結果について】

委 員 今回、宇都宮市の方で徳次郎町に関する過去の資料等について詳しく調査し、資料を作成いただき、とてもありがたいと思う。

補足すると、本編で説明があった「角川日本地名大辞典」については、昭和59年に発行されたわけだが、徳次郎町の読み方については、それ以前の明治時代には徳次良と「良(りょう)」という字を使って「良(ら)」とされていた。また、古くからの定説としては、日光の久次良(くじら)に対して宇都宮外久次良(うつのみやそとくじら)が「とくじら」になったとされている。しかし、資料に見える地名について根拠となるものがあるのか、と言われると不詳である。

南北朝時代以降、様々な漢字が使われているが、明治時代22年の富屋村成立前には「徳次郎宿(とくじらしゅく)」と呼ばれる地名があった。江戸時代には大きい村については「宿」が使われており、その時の漢字は「徳次良」が使われていた。

- このように、「とくじら」については様々な漢字が使われていたが、言葉としては古くから「とくじら」と呼ばれていた。
- 会長 地名の起源・由来について、「角川日本地名大辞典」などに、日光の久次良氏に対して外久次良氏を称したことによると記載されており、また別紙5の表 上から2番目の日光禅定札に「得志良」と記載があるとのことですが、確かにそのように記載されておりますことを、私からも付け加えさせていただきます。
- 行政機関・事業者等への聴取について、今回出席されている宇都宮地方法務局、宇都宮中央警察署、日本郵便株式会社中央郵便局の各委員より、改めて徳次郎町の読み方が変更された場合の影響について、補足やご説明をいただきたい。
- 委員 宇都宮地方法務局では、不動産登記簿を保管している。こちらは現在、全国的にコンピューター化されているところであり、コンピューター化するためには住所地情報が必要になるが、読み仮名の登録はしていないため、仮に「とくじろうまち」から「とくじらまち」に変更となった場合でも漢字表記そのものが変更しない限り、影響等はない。
- 委員 徳次郎町駐在所については、漢字表記のみのため、「とくじら」へ名称変更されても影響はない。
- 委員 郵便番号自体は名称変更された場合でも「321-2116」と変わらないが、ホームページに記載されている徳次郎町のフリガナ修正及び徳次郎郵便局の読み方を修正する必要がある。
- 会長 調査結果のまとめについて、事務局及び各委員よりご説明いただいたが、不明な点がある場合は挙手にて、ご質問いただきたい。
- 委員 町名の読み方については、どのように定めることになっているのか。
- 事務局 町名の読み方等については、全ての市区町村において、その町の漢字の表記に併せ、読み方（ふりがな）について告示し定めている。
- 会長 事務局より、本審議会において審議するための「調査結果」についてご説明いただいた。では、徳次郎町の名称を「とくじらまち」へ変更することについて、委員の皆様から、ご意見をいただきたい。
- 委員 宇都宮中央警察署としては徳次郎町の読み方を「とくじらまち」にすることについては、特に問題はないと考えているため、異議はない。
- 委員 地域の皆様が「とくじら」という名称に強い愛着をもっていることを感じた。宇都宮地方法務局としては、先ほど説明したとおり、システム等の影響はないので、町名の読み方変更について異議はない。
- 委員 地域住民が親しんでいる「とくじら」という読み方について異議はない。
- 委員 「とくじら」については歴史的背景があり、地域の皆様に愛されている読み方であることがとてもよく分かった。今回の町名の読み方変更については、宇都宮市ではこれまで事例がないということなので、変更になった

- 場合には、関係機関等への周知し、不備のないように進めていただきたい。
- 委員 言葉とは先人から受け継いできたひとつの文化であると考えている。その文化を引き継ぐことは、徳次郎町の場合、子ども達に郷土愛を育て、地域を愛し、歴史を愛することにつながると思う。町名の読み方変更することについては、長年の悲願であったため、お願いしたい。
- 委員 私自身、読み方はずっと「とくじら」だと思っていたため、徳次郎交差点にある道路標識が「Tokujiro」となっていることを不思議に思っていた。町名変更がされた場合はいつからの変更になるのか。
- 事務局 別紙4のとおり、当審議会で徳次郎町の読み方について審議いただき、審議した結果を答申書としてまとめ、議会に議案として提出する予定である。12月議会の提出を予定し、議決された場合には告示等の手続きに1～2か月を想定していることから、町名変更実施は最短で3月を予定している。
- 委員 徳次郎町交差点のことを「とくじらの信号」と呼んでいたが、ある日信号をよく見たら「Tokujiro」と表記されていることに違和感を覚えたくらい、「とくじら」という地名であると思っていた。要望書のとおり、地元住民の皆様が「とくじら」という名称を望んでいるということであれば、町名変更する方向で進めていただければと思う。
- 委員 町の名称が「とくじら」となることについて、大変喜ばしいことだと思う。昭和29年に町村合併した当時の議事録は残っていなかったのか。
- 事務局 当時の議事録について確認することはできなかった。
- 委員 生まれた時から「とくじら」と呼んできたが、ある日、道路標識が「Tokujiro」に変更され、それを見た地元住民が疑問に感じたことがきっかけとなり、宇都宮市に要望書を提出し、今回の審議会を開催いただくこととなった。町名が変更された場合、市役所等で手続きが必要になるということで、ご迷惑をおかけするとは思うが、是非「とくじらまち」に変更いただくようお願いしたい。
- 委員 徳次郎町の智賀都神社で宮司をしているが、5月から現在までに、市内外の方から徳次郎町の変更についてお声がけがあった。中には、既に読み方が「とくじらまち」に変更になったと思っている方から、「おめでとう。」と言われることがあったが、現時点では、まだ決まっていない旨、説明をしている。歴史ある「とくじら」という名称に戻すことで、徳次郎町の更なる発展につながればと思う。
- 委員 「とくじらまち」から「とくじらまち」にすることは、住民の長く慣れ親しんできた名称であり、望んできたことである。富屋地区には13の単位自治会があり、その内、徳次郎に関する単位自治会が7つあるわけだが、今年4月に行われた連合自治会総会において「とくじらまち」にすることについて、反対はなく、賛成いただいたことを補足する。

会 長 皆様各専門分野や、歴史的なご意見を伺ったところ、徳次郎町の読み方を「とくじらまち」へ変更することは、歴史的背景からも適しており、地域住民の市民生活、事業者の経済活動への影響などの大きな問題はなく、地元や市内外においても「とくじら」が定着しているなどのご意見であった。

それでは、本日諮問を受けた、「徳次郎町」の読み方について「とくじらまち」へ変更することで、異議はないか。

(異議なしの声)

会 長 異議なしのため、そのように決定する。

事務局 徳次郎町の名称案について、「とくじらまち」へ変更することで決定いただいたことから、今回は答申案の内容についてご審議いただきたい。

会 長 これまでの審議会を通して、他に何かあるか。

特にないようなので、以上をもって、本日の議事を終了する。

(4) 今後のスケジュールについて

事務局 次回開催は8月31日(月)を予定している。

以上をもって、本日の審議会を閉会とする。

【閉 会】午前11時25分